**「大阪府教育振興基本計画における後期事業計画」補足資料**

参考資料1

**■工科高校の充実**

　◆**公立・私立高校卒業者の就職率（就職者の就職希望者に対する割合）**

**➡全国平均に比べると低位。**

（％）

（年.月）

※府教育庁調べ及び文部科学省「高等学校卒業者の就職状況調査」

**◆府内の工科高校**

**③**

**④**

**⑤**

**⑥**

**⑦**

**⑧**

**①**

**②**

**⑨**

三島地域

豊能地域

北河内

地域

泉北・泉南

地域

中河内

・南河内地域

大阪市

**茨木工科**

**（高大連携）**

**淀川工科**

**（高大連携）**

**城東工科**

**（産業連携）**

**布施工科**

**（産業連携）**

**西野田工科（技能養成）**

**今宮工科**

**（高大連携）**

**藤井寺工科（技能養成）**

**堺工科**

**（技能養成）**

**佐野工科**

**（産業連携）**

**◆工科高校における人材の重点化（平成26年度～）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分　類 | 特　色 | 対象校 |
| **高大連携****重点型** | 工業技術の理論を学ぶ工学系大学進学を視野に入れ、技術と理論を兼ね備えた**「将来の高度技術者」の育成**。 | 淀川（大阪市旭区） |
| 今宮（大阪市西成区） |
| 茨木（茨木市） |
| **実践的技能養成****重点型** | 高度な職業資格取得をめざし、**「高い付加価値を生み出す技術・技能力を持つ人材」の育成**。 | 西野田（大阪市福島区） |
| 藤井寺（藤井寺市） |
| 堺（堺市堺区） |
| **地域産業連携****重点型** | 実習や授業における企業連携を一層進め、**「ものづくり現場を支えて指導・管理・改善を推進する現場のリーダーとなる人材」の育成**。 | 城東（東大阪市） |
| 布施（東大阪市） |
| 佐野（泉佐野市） |

**（各重点型の成果）**

|  |  |
| --- | --- |
| 分　類 | 内　容 |
| **高大連携****重点型** | ・大学教員による出前実験や大学の研究室訪問、大学見学会の実施とともに、進学に必要な数学、理科、英語の学力向上を図った結果、**大学進学者が増加**。**理工系学部への大学進学者：H25年度34名　⇒　H28年度98名** |
| **実践的技能養成****重点型** | ・電気工事士など就職に役立つ**職業資格の取得者が増加**。**第２種電気工事士取得者数：H25年度157名　⇒　H28年度212名** |
| **地域産業連携****重点型** | ・インターンシップ協力企業数、参加生徒数が増加するなど**現場実習が充実**。**協力企業数：H25年度　69社　⇒　H28年度124社****参加生徒数：H25年度217人　⇒　H28年度384人**・企業と共同で商品開発に取り組むなど**企業との連携促進**。 |

**（平成29年度　教育行政に係る点検及び評価）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 目標（目標年次） | H24年度実績（前期計画策定時） | H29年度実績 |
| **高度な職業資格合格者** | **300人**（H29年度） | **150人** | **232人** |
| **工科系大学への進学実績** | **200人**（H29年度） | **121人** | **139人** |

**◆工科高校魅力化推進プロジェクト（平成28年5月～）**

・大阪のものづくりを支える工科高校の魅力を強化・発信していくため、民間企業等の応援を得て、教育庁、商工労働部と府立工科高等学校校長会で発足。

・工科高校PR映像を掲載したホームページや工科高校PR用のDVDなどにより、生徒・保護者対象の進路説明会などにおいて、魅力発信。

**■安全・安心**

**◆府立学校のブロック塀の調査結果（平成30年8月24日現在）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|   | 調査対象学校数 | ブロック塀が存在する学校数 | 不適合のあった学校数 | 不適合割合 |
| 高等学校 | 136 | 116 | 114 | 98.3％ |
| 支援学校 | 41 | 20 | 18 | 90.0％ |
| ***合　計*** | ***177*** | ***136*** | ***132*** | ***97.1％*** |

**【不適合のあった132校の内訳】**

・「違法状態」、および、「危険と判断」されたブロック塀 　　 **86校**

・高さ2.2m～3.0mかつ、劣化等が認められるブロック塀　　 　**14校**

・高さ2.2m～3.0mで、劣化等がないブロック塀 　　　　　 **11校**

・上記以外で、劣化等が認められるブロック塀　　　 　 　　　**21校**

**⇒86校については、今年度から順次撤去に着手。2019年度中を目途に対応。**

平成30年度9月補正予算対応

設計及び工事実施：**20校**　工事実施：**6校**　設計(次年度工事分)：**30校**

平成30年度既定予算対応

設計及び工事実施：**1校**　工事実施 ：**4校**

**◆9月補正予算の概要**

**○物的対応：補正額　1,394,012千円**

・地震の影響による府立学校や社会教育施設のブロック塀対策、被災した

建物等の損傷箇所の補修等（1,383,702千円）

・その他、被災した府指定文化財の修復費用に対する助成（10,310千円）

**○人的対応：補正額　966千円**

・地震の影響による児童生徒(府立支援学校)に対するメンタルケア（966千円）

**■小学校における英語教育**

**◆新学習指導要領の概要**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 現行学習指導要領 | 新学習指導要領（2020年度～） | 移行措置期間（2018・2019年度） |
| **小３・４年** |  | **外国語活動****35時間《週1コマ》** | **外国語活動　15時間** |
| ・活動（国の教材活用）・**「聞く」「話す」を中心とした****コミュ二ケーション能力の素地**の育成 | ・35時間実施も可能 |
| **小５・６年** | **外国語活動****35時間《週1コマ》** | **外国語科****70時間《週2コマ》** | **外国語活動　50時間** |
| ・活動（国の教材活用）・**「聞く」「話す」**を中心とした**コミュ二ケーション能力の素地**の育成 | ・教科（検定教科書使用）・**「聞く」「話す」**を中心とした**コミュ二ケーション能力の基礎**の育成・**「読む」「書く」**への慣れ親しみ・**数値**による評価 | ・外国語科の内容含む・70時間実施も可能 |

**◆府独自の取組み**

**大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム「DREAM」　5つの特徴**

**1．大阪オリジナル**・府内の小学校での実践研究で得られた成果を生かした、**大阪府発のオリジナルプログラム**。

**2．4技能の育成**　・児童の発達段階を踏まえ、**段階的に4技能（聞く・話す・読む・書く）を育成**。

　　1年生からフォニックス（英語の綴り字と発音の関係を重視した指導法）を活用。

**3．くり返し方式**　・週3回、1回15分程度の活動を基本に設計。**児童が楽しみながら自然に英語を習得**できる。

**4．学びの工夫**

・府内の小学校・中学校・高等学校を通じての英語学習を見据えて開発。

**小学校卒業段階で英検5級相当程度の英語力**がつくことをめざしている。

**5．学びやすさの工夫**・6カ年の学びを体系化し、**限られた時間の中での活動に適したオールインワンDVD化を**

**実現**。**英語を専門としない学級担任でも使いやすい教材**。

**※「DREAM」の普及状況：2017年度末時点で38市町、615校（府内小学校の約6割）**